

## 文章レベル6 期末レポート

Georgi Kocharyan

### 日本の残業文化は労働者に害を与えるか。

近年、世界中の人々のワークライフバランスの悪化と共に、労働者の権利についての議論が活発化している。「ワークライフバランス」というのは、仕事の責任が私生活と調和して、社員が自分自身の抱く個人的な目標を叶えることである。なぜ近代の会社は残業などを通じて従業員をできるだけ働かせるのだろうか。本稿では、この状態の原因と方法を説明して、更にどのように労働者が自らを守れるか明らかにすることを目的とする。

会社という組織には元来、利益を増やす以外の目的がないのだ。賃金が同じならば、基本的に会社の利益は従業員の働いた時間に比例する。したがって、利益を最大化したいので、企業はあくまでも社員に一秒でも長く会社においてほしいと思われる。

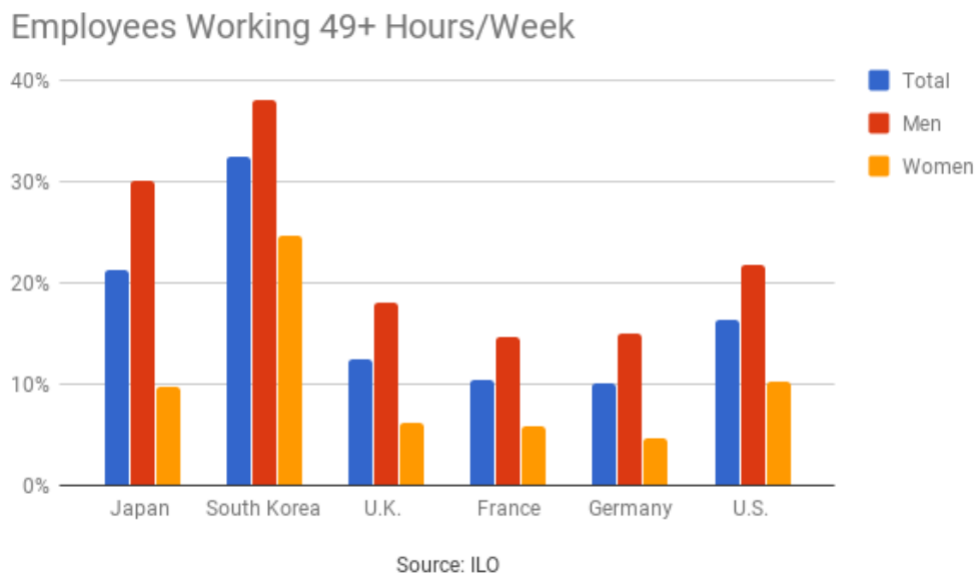


図1:一週間に49時間以上働く従業員の割合 [3]

図1は、一週間に49時間以上働く従業員の割合を示したグラフである。図1をみると、日本の従業員は比較的に長く働くようだ。ヨーロッパの国の場合では労働時間の多い方は1割ほどにすぎないが、日本は約2倍で、2割を上回っている！

その上、特に日本の会社が勤務以外の時間まで利用しようとする。仕事が終わったあと同僚との飲み会などは非常に多くあり、次第にありふれたものになりつつある。同僚の間の絆を深めて、協力できれば企業に有利であるという考えに基づいてと思われる。日本には一ヶ月に残業が100時間を超すとはいけないという制限があるのに、そういう方法で企業は規制を回避できる。

しかし、従業員はその利益を手にする事ができず、社長や取締役会員が自分の物とする。熊野 [1] (2019) によると、近年生産性と会社の利益が増えているのに、実質賃金は低下し続ける。余裕の資本はいつでも労働者に分配せずに、社会の裕福層に引っかかる。

仕事量の多さに悩むだけでなく、自分の仕事に満足できないか、生き甲斐につがらないという悩みを抱く人も多くいる。マルクスの疎外論 [2] によると、資本主義社会で労働者の仕事はあまりにも最終的結果と実際の消費者から離れているので、自分の仕事の具体的な意味がわからなくなる。これが現代の人々の仕事への不満の原因ではないだろうか。

働きすぎると、過労死する従業員もいる。「過労」というのは、健康被害が起こるほど働くことである。ストレスが更に多くなると、亡くなる可能性もある。

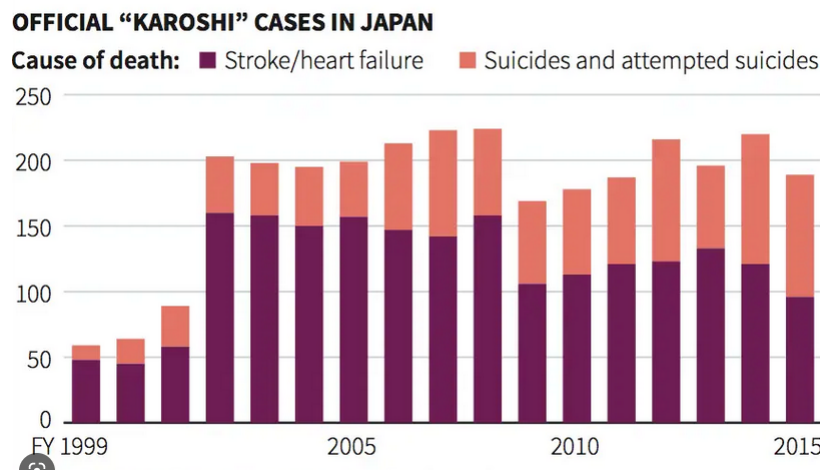


図2:日本で過労により亡くなった人の推移 [4]

図2は日本で過労死により亡くなった人の推移を示したグラフである。図2から、21世紀の幕開けから急激に過労死の事件が増加していることがわかる。

過労の問題の上に社会的な関係も悪化する。人の幸せに家族や友達との時間が必要条件である。毎日朝から夜まで会社にいれば、この基本的な欲求まで満たせなくなって、過労のストレスと組んで苦しくなりかねない。

しかし、自分を守るのは簡単ではなく、単に「転職すればいい」という忠告は役に立たない。ブラック企業とホワイト企業を見分けるのは外から判別できないし、労働環境の都合でわざわざ就職するほど暇ではない人がいる。被害者である労働者の方を責めるのはよくないと考えられる。

したがって、個人的な行動より従業員はお互いを助け合うべきだ。一人で会社の仕組みを変えるのは不可能だが、従業員全員がプレッシャーをかけるなら、上司には動くしかないだろう。組合を設立し、ストライキなどを通じて自分の扱いの支配権を握るに越したことはない。

ストライキで会社の利益が低下すれば、労働者の要求に応じるのは経済的に有利になる。それにしても、最も効果的な方法はやはり政府からの規制である。労働者の権利を守るために、強制しないことには始まらない。

本稿では日本の労働者のワークライフバランスの不釣り合いについて考察してきた。その結果、会社の制限のない利益への執着心の理由により、規制と組合は不可欠であるという結論に至った。しかしながら、飲み会などで過ごした時間は計りにくくて、こういう点の資料が少なかったことが課題として残る。これは次の機会に述べることとする。  
(1628 字)

## 参考文献

- [1] 熊野 英生・「実質賃金が低下する理由」・『第一生命経済研究所』・2019 年
- [2] 小林直衛、村田陽一・『マルクス＝エンゲルス全集』・大月書店・1991 年
- [3] 「Japan by the Numbers: ‘Karoshi’」<https://www.tokyoreview.net/2017/10/japan-numbers-karoshi-overwork/>  
2023 年 1 月 25 日
- [4] 「How overwork in Japan killed Miwa Sado and hundreds like her」<https://www.insider.com/karoshi-how-overwork-in-japan-killed-miwa-sado-and-hundreds-like-her-2017-10>  
2023 年 1 月 25 日